

平成29年度 横浜市世界を目指す若者応援事業

(個人留学による帰国報告)

●氏名

HWさん

●留学先

国：フランス共和国

外国の高校：Lycee Jean Baptiste Vuillaume Ecole Nationale De Lutherie

Lycee EIC

●留学期間

平成29年9月1日～平成30年7月9日

●留学先での活動、留学で学んだこと

1年間の留学を通して経験したことは沢山あるが、その中の主に四つを報告する。

一つ目は、語学力の向上だ。ホストファミリーが英語を全く話せなかった事もあり、初日からフランス語でコミュニケーションをとっていた。数ヶ月後には、日常生活でのフランス語は慣れて来ていたが、授業で先生が話すフランス語の理解に苦しんだ。今までにない苦しい経験のため、焦りや葛藤が起きてフランス語の習得に辛い時期もあった。しかし、語学学校へ行くことや、テストを積極的に受けて自分なりにフランス語力を上達させた。留学後半ではフランス語を使って一人旅ができるほどに上達することができた。

二つ目は、人との繋がりがだ。初めて会う人々と一から関係を築くことで、人種や民族、性別に関係なくコミュニケーションや人脈が作れたことは、日本では経験し得ない貴重な財産にもなった。留学の初めはストレスで辛い時期もあったが、自分の意見だけを主張するのではなく相手の立場に立って考えることができた。また、課外活動にも挑戦し、日本の伝統武道である柔道を通して、日本の文化をフランス人と共有でき、日本をアピールできたことに加え、それによって、多くの友人ができた。

三つ目は、視野の広がりだ。ホストファミリー変更やフランスの様々な家庭にステイ経験したことで、同じホストファミリーのままであったならば経験できなかった、多様なフランスの人柄や家庭環境の理解を深められた。

四つ目は、自己解決能力が高まったことだ。留学の初めの頃は、フランス語が未熟なため、困難なことにあっても誰かに相談できなかった。しかし、自分の直面した問題や困難は、自ら積極的に対応しなければ打開できないことを認識し、自ら立ち向かい、解決する力がついた。今後更に自立できるように努力していきたい。

このように私の留学生活は、決して順風満帆ではなかったが、貴重な体験・経験を活かし、これからも更に日本や世界のことを学び、豊かな人間性を持った人になりたい。

そして、このような留学機会を与えてくれた両親、いつも支え見守り続けてくれた家族・友達に対し、感謝している。また、横浜市世界を目指す若者応援事業様には、補助金援助というかたちで私の留学を支援いただき本当にありがとうございました。

今回の留学での経験をきっかけに、将来日本及び横浜市の未来、そして世界の未来に貢献できる人材になるべく研鑽していきます。